

ほぞんばん
保存版

災害に備えて、いつでも見える場所に大切に保管しましょう。

ひなん とき も
避難する時は持っていきましょう。

豊野地区

け せん よう
家専用

名前を書いて、わが家専用

さいがい
災害は
どこでも
お
起きる

わが家の

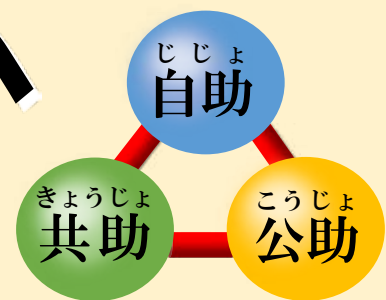
いのち まも
命を守る

ガイドブック

わが家の**防災** **家**
避 **避** シール付き!

貼って確認!

わが家の注意する災害と避難場所を確認しましょう。



じしん そな
地震に備えて

- 震度と揺れの状況 2
- 地震発生時の対応と避難の流れ 3

ふうすいがい どしゃさいがい そな
風水害・土砂災害に備えて

- 水害から身を守るために 5
- 避難情報の伝達経路 6
- 河川の水位と氾濫に関する情報 7
- 雨の強さと降り方
- 風の強さと吹き方 8
- 土砂災害から身を守るために 9
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域 10

ひなん かん じょうほう
避難に関する情報

- 避難に関する情報
- 避難の心得 11
- 防災情報入手方法 12
- 指定緊急避難場所などを確認 13
- 非常時持ち出し品・非常用備蓄品 15

じしゅぼうさいそしき ようはいりよしゃ
自主防災組織・要配慮者

- 自主防災組織の役割と活動 17
- 要配慮者の支援 18

しりょう とよの し おうきゅうてあて
資料（豊野を知る・応急手当）

- 大地の生い立ちから
- 防災を考えよう! 19
- 豊野地区過去の水害記録 21
- もしもの時知っておきたい情報 23

れんらくさき た
連絡先・その他

- 連絡先一覧
- 豊野地区の施設連絡先 24
- 策定委員会名簿 25
- おわりに 26

? なぜ今、防災なのか

近年、大地震や台風、集中豪雨などによる大災害が全国各地で発生しています。

豊野地区におきましても、昭和 57 年、58 年に台風の接近による断続的な降雨によって、床上浸水などの大きな被害が発生しました。また、平成 7 年には梅雨前線による集中豪雨で鳥居川が氾濫するなど大きな浸水被害に見舞われました。



出典「平成 7 年 7.11 梅雨前線豪雨災害の記録」

平成 29 年には長野市内で土砂災害による避難勧告が 9 回、そのうち豊野地区でも 1 回発表されています。

このように今、災害はいつどこで発生するかわかりません。まずは一人一人が防災意識をしっかりと持ち、家庭や地域などで防災への取組を実践することが大切です。

このガイドブックは、災害に備えるために必要な情報を掲載しています。「豊野を知る」のページではこの地区の特性や過去の災害も掲載しています。地区を知ることも「備え」の一つです。 詳細➡19 ページ

家庭や地域、地区の防災訓練など様々な場面で活用していただける一冊です。防災マップも地区毎に作成しました。併せてご活用下さい。

は かくにん
まずは貼って確認！

2

土砂災害警戒区域(イエローゾーン
レッドゾーン)や浸水区域に入るか
確認しましょう

1



シールは2つのタイプがあります。
見やすい方を選んで貼りましょう。

家
シールをマップ
の自宅の場所に
貼りましょう！



3

確認することで、避難勧告などが
発令された際に早めに行動する
ことができます。

くわ
詳しくは
13・14 ページへ

しん ど ゆ じょうきょう 震度と揺れの状況

地震

震度は、地震による揺れを感知し自動的に震度を計算する「震度計」という機器で観測しています。地震が発生すると、全国の震度計で観測された震度を自動的に収集し、気象庁では地震発生から約1分半後に震度3以上の場合、各地域の震度を速報でお知らせしています。

<p>0 【震度0】 人は揺れを感じない。</p>	<p>1 【震度1】 室内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。</p>	<p>2 【震度2】 室内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。</p>	<p>3 【震度3】 室内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。</p>
<p>4 【震度4】 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。</p>	<p>5弱 【震度5弱】 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</p>	<p>6弱 【震度6弱】 ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>	<p>6強 【震度6強】 ● はわないと動くことができない傾けられることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</p>
<p>5強 【震度5強】 ● 物につかまらなさと歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が倒れることがある。</p>	<p>7 【震度7】 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。</p>		

出典：「震度とゆれの状況」（気象庁ホームページより）

詳しい解説は気象庁ホームページへ

<http://www.jma.go.jp/jma/ki/shou/known/shindo/kaisetsu.html>



長野市に大きな影響をおよぼす地震

糸魚川-静岡構造線断層帯の地震（北部・中部）

およそ1000年に1度の間隔で活動しています。最新の地震からすでに1000年以上が経過しており、今後30年以内の地震発生確率は14%と発生の可能性が高いと考えられ、市内最大震度7と予想されています。

長野盆地西縁断層帯の地震

善光寺地震(1847年)を引き起こした断層による地震です。およそ1650年に1度の間隔で活動しており、今後30年以内の地震発生確率はほぼ0%と推定され、市内最大震度7と予想されています。



「市内に大きな影響を与えることが予想される地震の規模」を編集（長野市地震防災マップより）

地震発生時の対応と避難の流れ

地震から身を守るためには、落ち着いて行動することが必要です。ケガや二次災害を引き起こさないよう、いざという時の行動を覚えておきましょう。

地震発生!!

0分

揺れが収まった

1~2分

3~5分

10分~数時間

~数日

まず、自分の身を守る 自助

身の安全の確保

- ・丈夫な机の下などに隠れる
- ・火の始末（可能な場合）
- ・ドア等を開け、逃げ道の確保



家族の安全・周囲の確認 自助

<土砂災害などの危険がある場合は直ちに避難>

※ 避難の際にはガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす



火の始末（初期消火） 自助 共助

- ・火が大きくなったら隣近所に応援を依頼する



隣近所の安全確認 共助

- ・声を掛け合い、互いの安否確認
- ・隣近所で協力して消火や救出を行う
手に負えない場合は、消防・警察へ通報の上ただちに避難
- ・漏電、ガス漏れ、余震に注意



正しい情報収集 自助

ラジオや同報無線等により情報収集



情報収集及び伝達 共助

- ・地区内の被害状況の収集
- ・消防署等への通報
- ・地区の被害状況を市（支所）へ連絡

避難または在宅避難 自助

➡ 右ページで確認

- ・原則、避難に車は使わない
- ・非常時持ち出し品の持参

避難誘導活動 共助

とよのちくじしゅぼうさいかい
豊野地区自主防災会

さいがいたいさくほんぶせっち
災害対策本部設置

（震度5弱以上で被害の状況に応じて）

避難所運営 共助 自助 公助

- ・秩序ある避難生活
- ・炊き出し等の給食、給水活動
- ・市及び関係機関の情報伝達
- ・物資配分、物資需要の把握
- ・避難行動要支援者への配慮

- ・隣近所声を掛け合い、避難誘導
- ・避難行動要支援者の避難支援
- ・負傷者の手当、搬送



げんさい さんぽんばしら
減災を進める上で最も重要な**三本柱**

災害時に必要な三本柱の比率は

自助:共助:公助=7:2:1といわれています。

実際の災害時には、近隣住民の力で多くの方々が救出されています。



ひなん なが
避難の流れ

げんざいち じょうきょう かくにん
現在地の状況を確認
 ひなん ひつよう はんたん
避難が必要かどうか判断

CHECK

外出先で被災した場合は
むやみに移動しない
 会社や学校などにいた場合、安全なら
 その場にとどまる

- ・土砂災害警戒区域内※¹にいる場合
- ・隣接の建物の倒壊などのおそれがある場合
- ・周囲の火災が延焼してくるおそれがある場合 など



避難の必要がある

CHECK

避難の際にはガスの元栓を
 閉めブレーカーを落とす



避難の必要
 がない

いっときひなんばしょ
一時避難場所へ向かう

- ・組や区で決めた場所
- ・近くの公園・公会堂



余震・火災など
 危険がない

余震・火災など危険がある

していきんきゆうひなんばしょ
**指定緊急避難場所へ
 又は指定避難所※²へ向かう**

避難場所などは13ページで確認

周囲からの危険が
 なくなる

避難時の服装



- ・ヘルメット又は
 防災頭巾
- ・動きやすい服装
- ・履きなれた底の
 厚い靴
- ・軍手

いえ ひがい かくにん
家に被害があるか確認

被害がない

確認すること

自宅が倒壊又は余震で倒壊するおそれがあるかなど

被害があり
 生活できない

いえ もど ざいたくひなん
家に戻る・在宅避難



していひなんじょ ひなん
指定避難所※²に避難



※¹ 土砂災害特別警戒区域も含まれます。 ※² 市が安全な避難所を選定し開設します。

すい がい み まも 水害から身を守るために

豊野地区で注意すべきは水害です。
水害は発生する前に安全な場所へ避難することが重要です。

台風が発生する おおあめ 大雨になるおそれ

テレビ・ラジオなどの情報
に注意！

あめ つよ 雨が強くなると 「大雨注意報」発表

「大雨警報」発表

おおあめ ふ つづ 大雨が降り続くと

「避難判断水位」に到達

→避難準備・高齢者等
避難開始の発令

「氾濫危険水位」に到達
又は「土砂災害警戒情報」

→避難勧告の発令

市が安全な避難所を選定し開設
します

堤防天端高^{※2}に到達するおそれ
が高い場合（越水・溢水^{※3}のおそれ
のある場合）

→避難指示（緊急）の発令

さらに激しい おおあめ つづ 大雨が続くと 「大雨特別警報」発表

事前準備 ～普段からできること～



- ・周辺の浸水区域や土砂災害警戒区域^{※1}など、危険箇所を把握し、想定される災害に応じた避難場所や避難ルートを確認しておきましょう。
- ・非常用品や備蓄品、普段服用している薬など確認しましょう。家の周辺に飛ばされやすい物がないかなど点検をしましょう。



自助

最新情報に注意して、災害に備えた早めの準備を 雨・風の影響を受けやすい地区



避難に時間を要する人は早めの行動！

- ・気象情報や外の様子に注意しましょう。

自助

市が発表する避難に関する情報に

注意し速やかに避難



- ・避難に時間を要する人は避難準備・高齢者等避難開始が発令されたらすぐ避難を始めましょう。
- ・浸水区域や土砂災害警戒区域^{※1}などにいる方は早めの行動をし、避難勧告が発令されたら避難を始めましょう。
- ・大雨特別警報が発表されてからの避難は非常に危険です。早め早めの行動を！



※1 土砂災害特別警戒区域も含まれます。

自助

共助

公助

非常事態

ただちに命を守る行動をとる

- ・市からの避難指示に従い、ただちに避難所へ避難しましょう。浸水の中の避難は非常に危険です。外出することでかえって危険が及ぶような状況では、家の中で少しでも安全な場所に移動しましょう。冷静な判断が大切です。



いのち 命を守るために知って欲しい 「特別警報」 とくべつ けいほう

「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがあるときに、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。特別警報が発表された場合は、これまでに経験したことのないような非常に危険な状況にありますので、ただちに市からの避難情報に従うなど、適切な行動をとってください。

参考：政府広報オンライン『命を守るためにしてほしい「特別警報」』

※2 堤防天端高 堤防の頂部の高さのことをいいます。 ※3 越水・溢水 堤防の高さを超えてあふれ出すことをいいます。

ひなんじょうほう でんたつけいろ

避難情報の伝達経路

ぎょうせいきかん

行政機関

ながのちほうきしやうだい

長野地方気象台

大雨・洪水・土砂災害

注意報 警報 特別警報

※土砂災害警戒情報は県と共同で発表



情報提供

ちいき

地域

- 長野市防災情報ポータルサイトにて掲載 詳細 ➡ 12 ページ
長野市防災メール配信サービスにて配信 ※事前登録が必要です
- 警報・特別警報が発表された場合
合テレビ・ラジオにて放送
- 特別警報が発表された場合
『緊急速報メール』にて配信



風水害・土砂災害

ながのしさいがいたいさくほんぶ

長野市災害対策本部

長野市役所

連携

ひなんじゆんび

避難準備

・高齢者等避難開始



安全な避難所を
選定し開設します。



ひなんかんこく

避難勧告

ひなんしじきんきゆう

避難指示(緊急)

避難所について
詳細 ➡ 13 ページ

さいがいはっせい

災害発生

豊野支所

東部土木事務所

鳥居川消防署

豊野町交番

情報提供

住民自治協議会

区(7区)

消防団

地域住民

防災無線

報道機関

消防署
消防団

この他にも 避難情報は様々な方法で
住民の皆さんに伝達されます。

豊野地区自主防災会
災害対策本部設置

※ 状況により災害発生前に設置

避難に関する情報が発令する前に災害が発生すること
もあります。身の危険を感じたらすぐ避難しましょう。

かせん すい いほんらん かん じょうほう 河川の水位と氾濫に関する情報

河川の水位が避難の目安となります。

水位観測所の水位の状況に応じて次のような判断基準が定められています。



立ヶ花観測所

写真提供：「千曲川河川事務所ホームページ」より



豊野地区周辺河川における避難勧告等の判断基準

レベル	河川	水位観測所	判断基準
避難準備 ・高齢者等 避難開始	千曲川	立ヶ花	水位が避難判断水位（9.10m）に到達したと発表され、かつ水位予測において引き続きの水位が見込まれる場合など
	浅川	富竹	水位が避難判断水位（2.50m）に到達した場合など
	鳥居川	飯綱町倉井	水位が避難判断水位（2.50m）に到達した場合など
避難勧告	千曲川	立ヶ花	水位が氾濫危険水位（9.60m）に到達したと発表された場合など
	浅川	富竹	水位が氾濫危険水位（3.00m）に到達、または氾濫注意水位を超えた状態で急激な水位上昇のおそれがある場合
	鳥居川	飯綱町倉井	水位が氾濫危険水位（2.80m）に到達、または氾濫注意水位を超えた状態で急激な水位上昇のおそれがある場合
避難指示 （緊急）	千曲川	立ヶ花	水位観測所の水位が氾濫危険水位を超えた状態で、堤防天端高に到達するおそれが高い場合
	浅川	富竹	水位観測所の水位が堤防高に到達するおそれが高い場合
	鳥居川	飯綱町倉井	場合

水位・雨量・ライブ映像の詳細 ➡ 12 ページ

なにこれ

ていぼうだかひょうじかんばん

堤防高表示看板について






この看板は、千曲川及び浅川の堤防の高さと設置した場所との高低差を表示しています。

この看板が設置された場所は、河川が氾濫した場合、浸水する可能性があることを意味しています。

豊野地区内90箇所に設置されていますので、避難経路の判断に活用するなど、日頃から家族で確認しましょう。








あめ つよ ふ かた
雨の強さと降り方

10～20mm (1時間雨量)	やや強い雨	<ul style="list-style-type: none"> ・ザーザーと降る。 ・地面からの跳ね返りで足元が濡れる。 ・この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 	
20～30mm (1時間雨量)	強い雨	<ul style="list-style-type: none"> ・どしゃ降り。 ・傘をさしていても濡れる。 ・側溝などがあふれ、小規模のがけ崩れが始まる。 	
30～50mm (1時間雨量)	激しい雨	<ul style="list-style-type: none"> ・バケツをひっくり返したように降る。 ・道路が川のようになる。 ・山崩れ、がけ崩れが起きやすくなる。 	
50～80mm (1時間雨量)	非常に激しい雨	<ul style="list-style-type: none"> ・滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなる。 ・土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。 	
80mm～ (1時間雨量)	猛烈な雨	<ul style="list-style-type: none"> ・息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。 ・大規模災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要。 	

風水害・土砂災害

かぜ つよ ふ かた
風の強さと吹き方

およその瞬間風速 (m/s)

10～15m/s	やや強い風	<ul style="list-style-type: none"> ・風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 ・樹木全体が揺れ始める。 		20
15～20m/s	強い風	<ul style="list-style-type: none"> ・風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。 ・電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 		30
20～25m/s	非常に強い風	<ul style="list-style-type: none"> ・何かにつかまっていないと立ってられない。 ・ビニールハウスのフィルム（被覆材）が広範囲に破れる。 		40
25～30m/s		<ul style="list-style-type: none"> ・屋根瓦、屋根葺材が飛散するものがある。 ・細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。 		50
30～35m/s	猛烈な風	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での行動は極めて危険。 ・走行中のトラックが横転する。 		60
35～40m/s		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの樹木が倒れる。 ・電柱や街灯で倒れるものもある。 		
40m/s～		<ul style="list-style-type: none"> ・住宅が倒壊するものがある。 		

参考：リーフレット「雨と風（雨と風の階級表）」気象庁
イラスト提供：気象庁

どしやさいがい み まも 土砂災害から身を守るために

とよのちく どしやさいがいけいかいき
豊野地区も土砂災害警戒区域※があります。

土砂災害はひとたび発生すると、大きな力で襲ってくるため、多大な被害をもたらします。また、「いつ」「どこで」発生するかを予測することは難しく、土砂災害から身を守るためには早めの避難が大切です。



広島市安佐南区の土砂災害（H26.8）

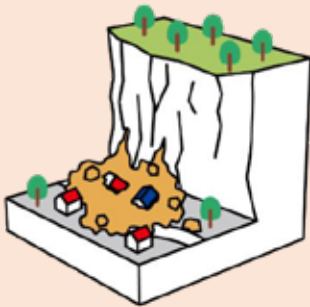
雨量情報に
注意

土砂災害の
前ぶれに注意

土砂災害
警戒情報に注意

どしやさいがい しゅるい おも ぜんちょう 土砂災害の種類と主な前兆

くず がけ崩れ

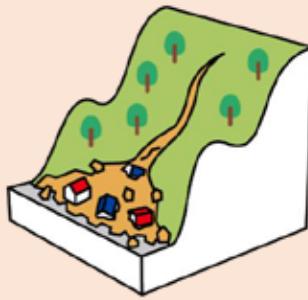


がけ崩れとは、地中にしみ込んだ雨水で柔らかくなった土砂が斜面から突然崩れ落ちる現象。一瞬のうちに崩れ落ちるので、逃げ遅れなどで被害が大きくなります。

こんなときは早めの避難！

- ・ 斜面に割れ目が見えるとき。
- ・ 斜面の途中から水が急に湧き出してくるとき。
- ・ 斜面からバラバラと小石が落ちてくるとき。

どせきりゅう 土石流

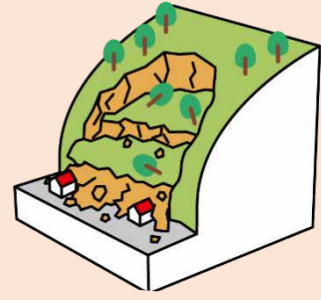


土石流とは、谷や斜面に溜まった土・石・砂などが、大雨による水とともに一気に流れ出す現象。スピードも速く破壊力が大きいので、広範囲に大きな被害が発生します。

こんなときは早めの避難！

- ・ 立木の裂ける音や大きな石の流れる音が聞こえるとき。
- ・ 川の流水が濁り出したり流木などが混ざっているとき。
- ・ 雨が降り続けているのに川の水位が減少しはじめたとき。

じ 地すべり



地すべりとは、比較的緩やかな斜面で地中の粘土層などがゆっくりと動き出す現象。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路などに大きな被害が発生します。

こんなときは早めの避難！

- ・ 地面にひび割れが出来ているとき。
- ・ 沢や井戸の水が急激に減ったり、濁ったりしたとき。
- ・ 家や擁壁に亀裂が入ったりしたとき。




※ 土砂災害特別警戒区域も含まれます。

どしやさいがいけいかいいき 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

どしやさいがいけいかいいき
土砂災害警戒区域
(通称：イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民の生命又は身体に危害が生じる恐れのある区域として指定されています。

この区域では、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地域防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が行われます。


-  がけ崩れ
-  土石流
-  地すべり

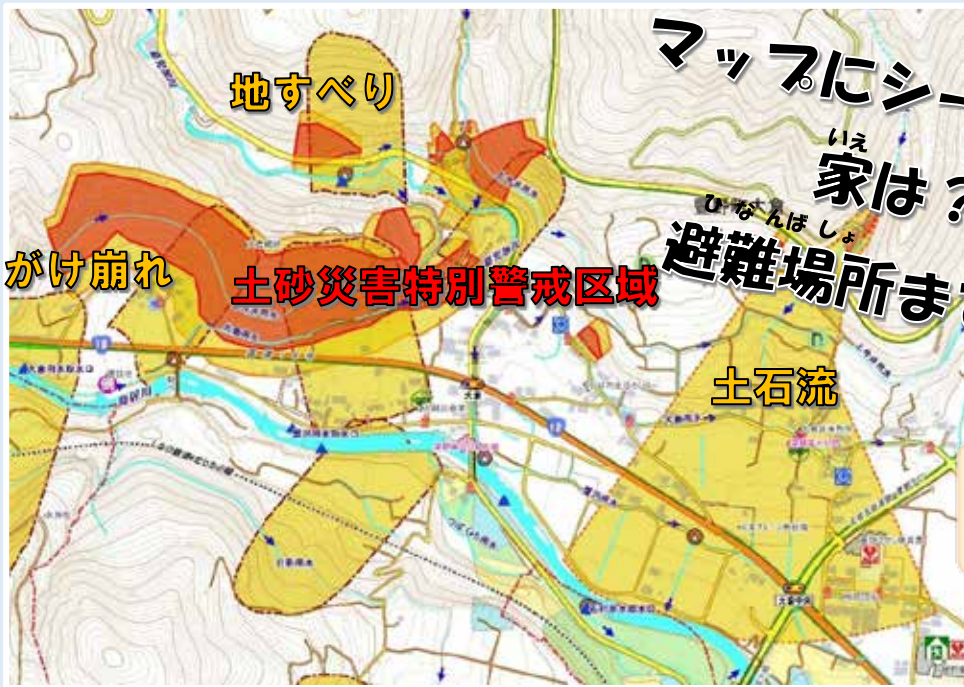


どしやさいがいとくべつけいかいいき
土砂災害特別警戒区域
(通称：レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じる恐れがある区域として指定されます。

この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移転勧告等が行われます。

-  土砂災害
特別警戒区域



マップにシールを貼って確認!
家は? 周辺は?
避難場所までの道のりは?



どしやさいがいけいかいじょうほう
土砂災害警戒情報とは

情報入手方法 ➡ 12 ページ

大雨による土砂災害発生危険が高まったとき、避難勧告などを発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、気象庁と県が共同で発表している情報です。

雨が降り出したら、大雨警報や土砂災害警戒情報などの防災気象情報に注意しましょう。危険を感じたら自主的に避難することも重要です。

避難に関する情報

災害の危険が迫って避難が必要になった場合に、以下の3つの情報が発令されます。各情報に応じた避難行動をとりましょう。

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合

避難準備

・高齢者等避難開始

- 避難に時間を要する人（高齢者、障害者、乳幼児、妊婦等）は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備をしましょう。



災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

避難勧告

- 速やかに避難場所へ避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所へ避難するか、家の中で少しでも安全な場所へ移動しましょう。



災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難指示（緊急）

- まだ避難していない人は、ただちに避難しましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所へ避難するか、家の中で少しでも安全な場所へ移動しましょう。



必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。

避難の心得

火の元の確認

避難する前にガスの元栓を閉め、ブレーカーを落としましょう。

OFF



荷物は最小限に

服装は長袖、長ズボンを着用し、動きやすい格好で避難しましょう。



避難は徒歩で

車での避難は危険です。緊急車両の妨げにもなります。



狭い路地、川辺に近寄らない

ブロック塀や自動販売機の転倒、浸水時には段差や溝に注意しましょう。



正確な情報収集

間違った情報にまどわされず的確な行動をしましょう。



避難に協力を

お年寄りや子ども、避難行動要支援者の避難に協力しましょう。



ぼうさいじょうほうにゆうしゅほうほう

防災情報入手方法

ながのしぼうさいじょうほう

長野市防災情報ポータル



防災情報ポータル

<http://nagano-bousai.jp/>



防災気象情報、雨量、河川の水位情報、避難情報などを提供するサイトです。
災害等の緊急時に必要な情報（ライフライン・交通機関・道路情報など）のリンク
もありますのでご活用ください。

また、「長野市防災メール配信サービス」も行っていますので、是非ご登録ください。



	情報入手先	入手方法	情報
電話	長野市 消防・火災情報	026-228-7000 (自動応答)	火事の 発生・鎮火
	長野市雨量情報	026-223-4003 (自動応答)	雨量
テレビ	データ放送	ご家庭のテレビのリモコンの「dボタン」を押して、トップメニューの「河川水位雨量情報」及び「防災・災害情報」(NHKの場合)を選択します。	水位 雨量 気象
下記サイトすべて長野市防災情報ポータルサイトのリンク集にも掲載しています。			
パソコン・スマートフォン・携帯電話	長野県河川砂防 情報ステーション	http://www.sabo-nagano.jp/res/portal.html 今後の雨量予想など確認し、 事前の備えに役立てましょう。  スマートフォン用  携帯電話用	水位・雨量 雨量メッシュ ライブ映像
	国土交通省 北陸地方整備局 千曲川河川事務所	http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/index.html 	水位・雨量 ライブ映像
	Yahoo!防災速報 	スマートフォンで利用できるアプリ版 (Android、iOS 対応)  Android 版  iOS 版 従来型の携帯電話やパソコンにメールでお知らせするメール版があります。 ※登録などが必要です	アプリで情報を受け取るためには設定が必要です。 1. 地域設定「長野市」に設定 2. 「自治体からの緊急情報」を「オン」に設定

避
難

指定緊急避難場所などを確認

シールを貼って確認！わが家の避難場所

1 マップ内の自宅の場所に「家」シールを貼りましょう！

2 土砂災害警戒区域（イエローゾーン レッドゾーン）や浸水区域に入るか確認しましょう。災害ごとに避難場所を確認し、マップ内に避難場所シールを貼ります。安全な避難経路も書き込みましょう。※災害に応じた経路を考えましょう。

3 「わが家の避難場所」にも災害ごとの避難場所にシールを貼り、家族で確認してください。

シールは2つのタイプがあります。見やすい方を選んで貼りましょう。

指定緊急避難場所について



災害が発生した時、または発生しそうな時に、身の安全を確保するために逃げる場所です。長野市では、地区ごとの避難先指定は行っていません。最も安全と思われる最寄の避難場所へ避難してください。

施設名	所在地	電話番号	設備			適性		
			厨房	障害者トイレ スロープ	AED	洪水等	土砂災害	地震 (耐震性)
豊野西小学校	豊野町石 1880	257-3700	○	○	○	○	○	○
豊野公民館	豊野町豊野 612-8	257-5875	○	○	○	×	○	○
豊野中学校	豊野町豊野 814	257-2313	○	○	○	×	○	○
豊野体育館	豊野町豊野 624	257-6830 (公衆電話)	×	○	○ ※1	×	○	○
豊野東小学校	豊野町大倉 2213		257-2033	○	△ ※2	○	○	○

○:設備あり ×:設備なし ○:適している ×:適さない

※1 ゆたかのスポーツクラブハウス内にあります。
 ※2 スロープはあります。

避難は原則徒歩で

車での避難は危険です。



緊急車両の妨げにもなります。

おうきゅうきゅうごじょ 応急救護所について



大規模災害発生直後の混乱時に、後方病院^{※1}が救急救護活動の拠点として機能を維持できるように応急救護所を設置し、負傷者トリアージ^{※2}、応急処置等を行います。

豊野地区内では豊野西小学校

ふくしひなんじょ 福祉避難所について



災害時に要配慮者のうち、一般の避難所では生活が困難な方のための避難所です。

※ 二次的な避難所であり、必要に応じて開設されます。

豊野地区内では豊野隣保館・豊野保健センター（老人福祉センター）

していひなんじょ 指定避難所について



避難勧告または避難指示が出たときには、避難先として指定避難所が開設されます。そこでは、避難者や被災者が一定期間生活をします。

指定緊急避難場所の中から、市が安全な避難所を選定し開設します。

避難



各避難場所の適性を確認し、災害に応じて避難する場所へシールを貼りましょう。

（シールは2つのタイプがあります。見やすい方を選んで貼りましょう。）

※ 指定した避難場所が必ず避難所として開設されるとは限りません。正確な情報収集が必要です。

わが家の指定緊急避難場所

洪水等の危険



土砂災害の危険



地震の危険



洪水等の危険 避	土砂災害の危険 避	地震の危険 避

※1後方病院 重傷者を受け入れる医療機関 ※2トリアージ 負傷者の重症度に応じて、治療などの優先順位を決める

非常時持ち出し品



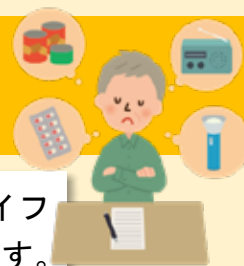
すぐ避難ができるようにリュックサックなどに入れて、玄関や寝室などに準備しておきましょう。

分類	品名	コメント	
きちようひん 貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 ※小銭も		
	<input type="checkbox"/> 預金通帳、印鑑		
	<input type="checkbox"/> 身分証明書		
	<input type="checkbox"/> 健康保険証		
	<input type="checkbox"/> 各種カード		
ひじょうしょく 非常食	<input type="checkbox"/> 飲料水	●火を通さなくても食べられる物を用意しましょう。 	
	<input type="checkbox"/> ビスケット、チョコレート		
	<input type="checkbox"/> 缶詰	●乳幼児がいる家庭は用意しましょう。	
	<input type="checkbox"/> レトルト食品		
	<input type="checkbox"/> 粉ミルク（哺乳瓶）・離乳食		
いるい 衣類	<input type="checkbox"/> 下着		
	<input type="checkbox"/> 軍手		
	<input type="checkbox"/> 雨具		
	<input type="checkbox"/> タオル		
	<input type="checkbox"/> 長袖・長ズボン		
いりょうようひん 医療用品	<input type="checkbox"/> 常備薬（おくすり手帳）	●赤ちゃん用のおしりふきはウェットティッシュ替わりにもなります。	
	<input type="checkbox"/> 絆創膏・ガーゼ		
	<input type="checkbox"/> ティッシュ		
	<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ		
	<input type="checkbox"/> マスク		
じょうほうしゅうしゅうようひん 情報収集用品	<input type="checkbox"/> 携帯電話（充電器）		
	<input type="checkbox"/> ラジオ（予備電池）		
	<input type="checkbox"/> 防災マップ・ガイドブック		
	<input type="checkbox"/> 筆記用具		
せいかつようひん 生活用品	<input type="checkbox"/> ビニール袋	●水がなくても液体ハミガキで口をすすぐことができます。	
	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・液体ハミガキ		
	<input type="checkbox"/> 紙おむつ・おしりふき		
	<input type="checkbox"/> 生理用品		
	<input type="checkbox"/> メガネ		
その他	<input type="checkbox"/> 懐中電灯やLED ランタン（予備電池）	●懐中電灯などは1人1つ用意しましょう。	
	<input type="checkbox"/> マッチ・ライター	●食品包装用ラップはお皿に巻いて使うことで洗い物が出なくて済みます（水を使わなくて大丈夫）。	
	<input type="checkbox"/> 食品包装用ラップ		
	<input type="checkbox"/> 笛やブザー	●防災マップ・ガイドブックのケースに家族写真などを一緒に入れて、避難時は持ち出しましょう。	
	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ		
	<input type="checkbox"/> レジャーシート		
	<input type="checkbox"/> 家族の写真		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>


この他にわが家で必要なものをメモしましょう！

※ 家族構成などで必要なものは異なります。（乳幼児用や介護用品など）

非常用備蓄品



大災害が発生した場合、ライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるように、普段から備蓄しておくことが大切です。最近では大規模な災害においては1週間以上の備蓄が必要であるといわれています。

分類	品名	コメント
みず 水	<input type="checkbox"/> 飲料水	● 1人1日3リットルを目安に、最低でも3日分を用意しましょう。 ※飲料水とは別に、洗濯や食後の片付けなどで使う「生活用水」も必要です。
	<input type="checkbox"/> 米（缶詰・アルファ米など）	● 最低1人3日分を用意しましょう。 
	<input type="checkbox"/> インスタント食品	
<input type="checkbox"/> お菓子		
<input type="checkbox"/> 梅干や調味料		
しょくりょうひん 食料品	<input type="checkbox"/> 粉ミルク（哺乳瓶）・離乳食	● 乳幼児がいる家庭は用意しましょう。
	<input type="checkbox"/> カセットコンロ	● 大判のウェットティッシュは体を拭くのにも使用できます。 
<input type="checkbox"/> カセットボンベ		
<input type="checkbox"/> マッチ・ライター		
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー		
<input type="checkbox"/> ウェットティッシュ		
<input type="checkbox"/> トイレットペーパー		
<input type="checkbox"/> ビニール袋（大・小）		
<input type="checkbox"/> 生理用品		
にちようひん 日用品	<input type="checkbox"/> 薬（常備薬・救急箱）	● ラジオ・懐中電灯用に乾電池は予備を用意しましょう。 
	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
	<input type="checkbox"/> 衣類	
	<input type="checkbox"/> ラジオ	
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・LED ランタンなど	
	<input type="checkbox"/> 乾電池	
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

避難

この他にわが家で必要なものをメモしましょう！



日頃のちょっとした工夫で備える



非常食というと、乾パンなど日頃あまり口にしないものが多いです。また、用意していてもいざ必要になった時には賞味期限が切れていたり、食べづらいなどあります。そのため、日常消費できる「インスタント食品」「缶詰」「お菓子」「野菜ジュース」などを少し多めに用意し、古いものから消費していくことにより、賞味期限の心配がなく、家族の嗜好に合わせた食料が備蓄されます。日用品も同じです。

乳幼児や高齢者がいる家庭など家族構成にあった日常使用するものを少し多めに備えることも大切です。

自主防災組織の役割と活動

災害発生時には、市や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など、様々な被害が広範囲で起きた場合は対応が困難となります。

このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切です。地域の自主防災組織を中心に防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。

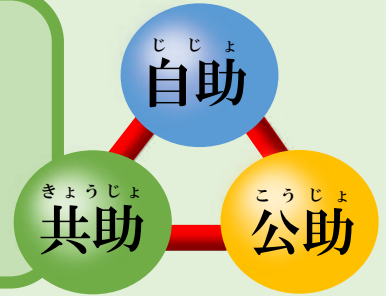


『7.11 梅雨前線豪雨災害の記録』より

地域や近隣の人が互いに協力し合う

『自主防災組織』とは

地域の人たちが互いに協力・連携して、「自分たちのまちは自分たちで守る」という考えに基づき、災害から地域を守るために活動する組織をいいます。



自主防災組織の役割

平常時の防災活動	災害時の活動
<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の実施 ・ 防災講習会の実施 ・ 防災備蓄倉庫の整理、点検 ・ 危険箇所の把握 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害情報の収集、伝達 ・ 出火防止、初期消火活動 ・ 避難誘導 ・ 住民の救出、救護 ・ 炊き出し、給水 <p style="text-align: right;">など</p>

豊野地区 自主防災組織集合場所

南郷区

南郷公会堂

豊野町南郷 2353



石区

石区事務所

豊野町石 2071-2



豊野区

豊野区事務所

豊野町豊野 1584
TEL 257-4878



浅野区

浅野区事務所

豊野町浅野

1107-1



蟹沢区

東部地区集会所

豊野町蟹沢 824

TEL 257-4896



大倉区

大倉区事務所

豊野町大倉

2106-口



川谷区

川谷区事務所

豊野町川谷

1001-2



要配慮者（避難行動要支援者）の支援

ようはいりよしゃ

要配慮者における



じゅうようせい

の重要性

災害発生時に最も重要となるのは、自ら身を守る「自助」です。しかし、災害が発生したときに、要配慮者は「自助」が困難である場合が想定されます。地域住民、近隣住民などが協力して避難等をサポートしましょう。

ようはいりよしゃ

要配慮者とは

高齢者・障害者・乳幼児・妊婦・外国人など配慮が必要な方です。



ひなんこうどうようしえんしゃ

さらに避難行動要支援者とは

みづか ひなん こんなん しえん よう かた
自ら避難することが困難で、支援を要する方

- 高齢者（ひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯）
- 障害者（身体・知的・精神障害者で重度の方）



自主防災組織・要配慮者

日頃から身近にいる要配慮者への手助け・気配りを心がけ、地域の方と要配慮者が

積極的な交流

を通し、信頼関係を築いておくことが大切です。



地区の **防災訓練への参加** も支援体制をつくるために大切な取り組みです。



要配慮者の方は隣近所と良好な関係を築き、いざというときに **助けられ上手** になりましょう。

ひなんしえんけいかく

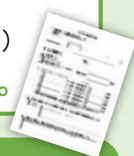
避難支援計画「わたしの避難計画」を活用しましょう

避難行動要支援者一人一人の避難支援が、迅速かつ適切に行えるように、誰がどのような支援を行うかを具体的に記載したものです。

避難行動要支援者と避難支援関係者*が話し合い、災害発生時、避難時に円滑に支援ができるように計画書を作成し、避難支援関係者と情報を共有しましょう。

※ 消防団・民生委員・自主防災組織（区長・組長など）

「わたしの避難計画」が必要な方には、民生委員等が訪問し作成のお手伝いをします。



CHECK! 特別な物資はすぐには届きません 日常備蓄を心掛けて下さい

- ・薬
- ・紙おむつ
- ・粉ミルク（哺乳瓶）
- ・離乳食
- ・流動食 など



災害時の持ち出し品は玄関などわかりやすい場所に置きましょう



災害は、その土地の生い立ちに深くかかわっています。

土地の成り立ちを知ることで、豊野の災害について考えてみましょう。

1 豊野地区の成り立ち

豊野地区は、地形的にみると標高 600mほどの丘陵の部分（豊野丘陵）と長野盆地の平坦な部分に大きく分けられます。この地形の違いは、大地の生い立ちの違いを物語るもので、災害発生時の被害の「質」にもかかわっています。ここでは、豊野の大地の生い立ちを紹介します。

豊野地区をはじめ長野市一帯は、約 200 万年前までは新潟県に続く海の底でした。川谷から発見の記録がある貝化石は、その証拠と考えられます。飯縄山はまだなく、飛騨山脈（北アルプス）の隆起で、長野市周辺には大きな川が流れ込み、海沿いの平野になった時代です（図1）。油沢や宇佐美沢沿いでみられる砂礫層は、その当時に運ばれたものです。



約 100 万年前の長野周辺 【図1】



豊野層の堆積した湖の広がり 【図2】

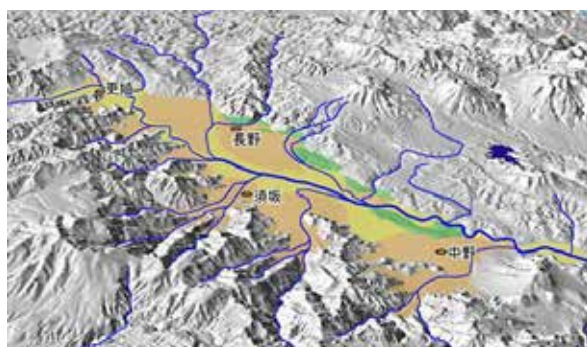
そして約 50 万年前から、飯縄山が噴火をはじめました。何度も噴火を繰り返し、火山として成長を続けたのです。鳥居川の谷筋では、当時の噴火で流れ下ってきた火砕流の地層をみることができます。この地層は、約 30 万年前のものと考えられ、豊野地区一帯の地下にも広がっています。その後、長野盆地一帯は大きな湖になりました（図2）。この湖に堆積した砂や泥の地層が豊野丘陵でよく見られるので「豊野層」（図3）と呼ばれています。

その後、長野盆地は西縁断層の動きが活発化し、隆起した部分が丘陵になり、逆に沈んだ部分が現在の平坦な地形をつくりました。もともとは同じ高さだったものが、断層が何度も動いたことにより、現在の地形が作られています。最近の動きで、大きな被害をもたらした地震が 1847 年の善光寺地震（推定 M7.4）、1941 年の長沼地震（M6.2）などです。観音山で見られる豊野層が盆地側に急傾斜しているのは、その結果なのです。



砂や泥でできた豊野層 【図3】

沈んだ盆地側には千曲川や浅川、鳥居川が運んできた砂礫や泥、砂がたまり、軟弱な地層が平坦な地形を作りました。豊野地区で、千曲川と浅川、鳥居川が合流するのには、そうした大地の生い立ちが潜んでいるのです（図4）。



現在の長野盆地ができた 【図4】

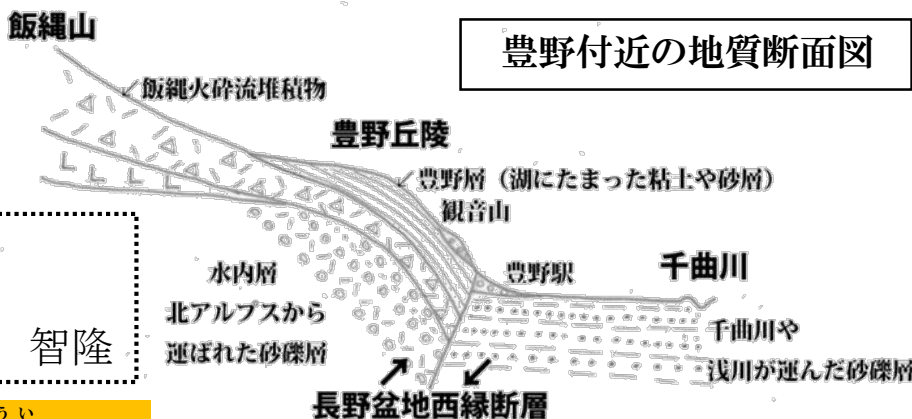
2 災害も平坦部と丘陵部で違う！

豊野地区の中央には長野盆地西縁断層が地下にあり、丘陵部と盆地の境になっています。それぞれの地質が違うため、それぞれの地域に発生する災害の質も大きく変わることを念頭に入れておきましょう。

盆地内の平坦な部分は、長野県一の大河である千曲川が流れ、長野県の大半の地域に降る雨の水が集まります。そのため、豊野で降水がなくても、川の上流部で起こった大雨にも注意しなければなりません。また、千曲川の水位が上がると、浅川の水が千曲川に流れこむことができないので、内水氾濫にも気を付ける必要があります。

丘陵部に広がる豊野層は、砂や泥の地層で、しかもその後の動きで盆地側に傾いているため、地すべりを起こしやすい特性を持っています。大雨や地震の際には、地すべりや土砂崩落に注意する必要があります。

自分が住んでいる場所は、どのような生い立ちをもっていて、弱いところはどこなのか、それを考えておくことが身を守る第1歩になります。



豊野付近の地質断面図

筆者

戸隠地質化石博物館

学芸員（館長補佐）

田辺 智隆

地盤の液状化に注意！！

豊野地区で、平坦な地形が広がっている場所は、浅川や千曲川が運んだ砂や泥でできた、軟らかい地盤です。しかも、地下水位が高くなっている場所が多いです。こうした場所が、地震の強い振動で揺さぶられると、液状化してしまう危険性が高いです。重たい建物が沈んだり、倒れたりすることがあります。また、下水道のマンホールが浮き上がってしまったり、地下から土砂や水が噴き出したりして、大きな被害をもたらす場合があります。

過去の災害の歴史を学び、自分たちが暮らす地面の下にも関心を持つ必要があります。



2014年11月長野県北西部地震（白馬村）

資料

豊野地区は災害に苦しんだ過去があります。「知る」「伝えていく」ことも「減災」につながります。



寛保2年(1742年)8月1日、2日 千曲川近世第一の洪水「^{いぬ まんすい}戌の満水」
 7月27日から降り出した雨は8月1日まで降り続き、千曲川と支流は大洪水となり、山崩れも引き起こしました。この時、千曲川の洪水は現在の豊野駅辺りまで達し、多賀神社南の道に多くの犠牲者が流れ着きました。この時の慰霊碑として豊野駅の北側に「流死人菩提碑」が建立されました。



とよのちくすいがいれきし
豊野地区水害の歴史

「豊野町の年表」豊野町誌4より(抜粋)
 昭和20年(1945年)～昭和63年(1988年)

年	月	災害	被害など
昭和20年(1945年)	10月	豪雨	浅野堀組床上浸水6戸、上今井橋流失
昭和23年(1948年)	7月	夕立豪雨	豊野20戸床下浸水、道路2箇所決壊
昭和25年(1950年)	8月	豪雨	南郷浅川橋流失
昭和26年(1951年)	7月	豪雨	川谷橋流失
昭和28年(1953年)	7月	7日間降雨	鳥居川堤防5ヶ所・田子川・石村用水三念沢決壊
昭和29年(1954年)	9月	台風	12号・14号・15号連続襲来
昭和33年(1958年)	9月	台風	21号 田子川決壊、22号 家屋浸水25戸 浅川決壊
昭和34年(1959年)	8・9月	台風	7号 町上水道供給停止 15号(伊勢湾台風)
昭和35年(1960年)	8月	豪雨	川谷地区土砂崩れ、信越線不通
昭和36年(1961年)	7月	豪雨	豊野床下浸水11戸、豊野以西鉄道不通 (右ページにて写真掲載)
昭和39年(1964年)	7月	梅雨前線	石～吉沢沿いに地滑り、川谷土砂崩れ 国道不通
昭和43年(1968年)	6月	集中豪雨	田子川3ヶ所決壊
昭和44年(1969年)	7月	雷雨	13戸床下浸水、田子川・隈取川決壊
昭和54年(1979年)	8月	台風	鳥居川氾濫、道路崩壊、住宅浸水
昭和56年(1981年)	8月	台風	床下浸水96戸、床上浸水5戸
昭和57年(1982年)	9月	台風	床上浸水306戸、明治・入の二橋落ちる
昭和58年(1983年)	7月	豪雨	町内各地で水害、大倉16戸浸水
昭和58年(1983年)	9月	台風	床上浸水227戸、家屋浸水401戸
昭和61年(1986年)	9月	豪雨	石・蟹沢・大倉23戸床下浸水
昭和63年(1988年)	8月	集中豪雨	家屋浸水101戸

昭和 36 年
 (1961 年)



梅雨全線豪雨（降水量 101.4mm）によって浅川が氾濫しました。



昭和 58 年
 (1983 年)



台風 10 号によって、9 月 27 日午後から 28 日夜まで続いた雨は 121mm となり、町内の床上浸水 227 戸など被害がありました。



近年、大きな災害はないものの、水路などの越水による被害や、土砂崩れなど豊野地区内で起きています。



昭和 57 年
 (1982 年)

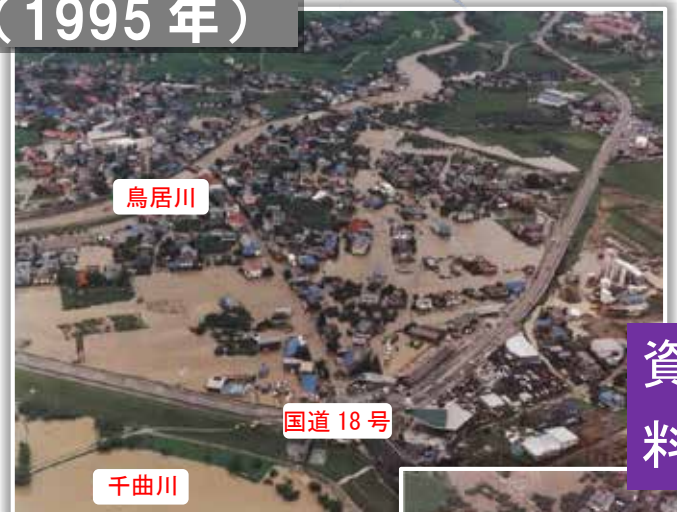


台風 18 号の接近で約 6 日間断続的に降雨、町雨量計の通算 161.5mm を記録しました。避難命令が出され、床上浸水など 306 戸に被害がありました。



7.11 梅雨前線豪雨災害の記録より

平成 7 年
 (1995 年)



7 月 11 日～12 日の梅雨前線豪雨によって、鳥居川上流領域の膨大な降水量により鳥居川が氾濫し、住宅 1 戸全壊、200 余世帯に大きな浸水被害がありました。

資料

もしもの時知っておきたい情報

応急手当（自助共助の必要性） **自助** **共助**

災害時には、救急車の出動要請が同時に集中し、119番が「話中」となり、出動した救急車も建物倒壊による通行不能や道路混雑のため、思うように活動できない場合があります。このため、自主防災組織が中心となり、災害で負傷した人に対して応急手当をし、病院へ搬送する等の支援を行いましょう。



覚えておきたい応急手当 応急手当の方法を携帯番号・スマートフォンでご覧いただけます。



静止画で確認

<http://www.city.nagano.nagano.jp/mobile/soshiki/keibou/45673.htm>



動画で確認

<http://www.city.nagano.nagano.jp/site/syoubou/108912.html>

長野市消防局では毎月5回ほど普通救命講習会を開催しています。

いざという時のために応急手当の技術を身につけましょう。

懐中電灯とビニール袋で **簡単ランタン**

白っぽいビニール袋で覆えば、光が反射して広範囲に広がります。



非常品に必須！ **サランラップ**

- ★ お皿にひいて使えば、洗う必要がないです。
- ★ けがの時の包帯変わりにできます。
- ★ 新聞紙と一緒に巻くだけで防寒具にもなります。
- ★ 新聞紙でお皿を作ってサランラップやビニールで覆って使うこともできます。



災害時に役立つ

土嚢がない！

そんな時には簡易的水嚢

大きめの袋を二重以上にし、その中に半分くらい水を入れ、固く締めます。ダンボールやプラスチックのケースに入れると安定して使えます。

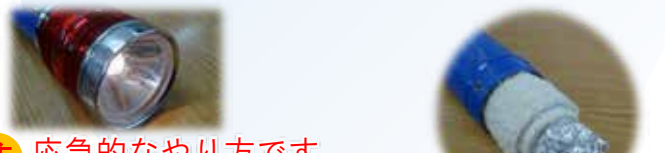


ビニールシートに包むとさらに効果的です。

豆知識

単三電池を **単二・単一に変える**

電池のサイズに合わせ布を切り、直径を単二や単一のサイズに合わせ巻き、テープで留めます。単一の場合は、丸めたアルミホイルで高さを合わせるとできます。



注 応急的なやり方です。緊急時以外は行わないでください。

連絡先一覧

豊野地区の施設連絡先		
主な行政施設		
豊野支所	長野市豊野町豊野613	257-3131
東部土木事務所	長野市豊野町豊野613	257-5869
豊野公民館	長野市豊野町豊野612-8	257-5875
豊野老人福祉センター	長野市豊野町豊野624-2	257-3135
豊野保健センター	長野市豊野町豊野624-2	257-5871
学校		
豊野西小学校	長野市豊野町石1880	257-3700
豊野東小学校	長野市豊野町大倉2213	257-2033
豊野中学校	長野市豊野町豊野814	257-2313
豊野高等専修学校	長野市豊野町豊野1344	257-2127
保育園		
豊野さつき保育園	長野市豊野町石2235-1	257-2486
豊野みなみ保育園	長野市豊野町豊野430-6	257-4599
豊野ひがし保育園	長野市豊野町大倉2196	257-2484
児童施設		
豊野西部児童センター	長野市豊野町石1880	257-4649
豊野西子どもプラザ	長野市豊野町石1880	257-3250
豊野東部児童館	長野市豊野町大倉2213	257-3066
豊野東子どもプラザ	長野市豊野町大倉2213	257-2459
交通機関		
しなの鉄道豊野駅	長野市豊野町豊野1002	257-2034
JR東日本信濃浅野駅	長野市豊野町浅野590	257-2531
医療機関		
豊野病院	長野市豊野町豊野634	257-2470
中屋診療所	長野市豊野町豊野894	257-2281
鈴木医院	長野市豊野町豊野1220	257-5020
その他 他に家族で必要な連絡先を記入しておきましょう		

とよのちくひなんゆうどうけいかくさくていいんかいめいほ
豊野地区避難誘導計画策定委員会名簿

(H28. 7. 12 ~H31. 3. 31)

敬称略

役 職	団 体 役 職	氏 名	
委員長	豊野区策定委員	高橋 勝利	
副委員長	浅野区策定委員	栗田 隆夫	
委 員	南郷区策定委員	柄澤 孟	※柄澤 周平 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)
委 員	南郷区策定委員	牧野 幸雄	
委 員	石区策定委員	宮澤 利男	
委 員	石区策定委員	峯村 明芳	
委 員	豊野区策定委員	清水 保孝	
委 員	浅野区策定委員	吉川 益雄	
委 員	蟹沢区策定委員	山田 勉	
委 員	蟹沢区策定委員	原 俊樹	
委 員	大倉区策定委員	武田 正司	
委 員	大倉区策定委員	米山 健一	
委 員	川谷区策定委員	高橋 秀雄	
委 員	川谷区策定委員	藤牧 利治	
委 員	豊野地区民生児童委員協議会長	土屋 慶子	※宮澤 敏男 (H28. 7. 12~H28. 11. 30)
委 員	豊野地区民生児童委員協議会副会長	霜村 吉明	※土屋 慶子 (H28. 7. 12~H28. 11. 30)
委 員	豊野地区民生児童委員協議会副会長	荒井 澄子	※村松 宮子 (H28. 7. 12~H28. 11. 30)
委 員	南郷区防災指導員	牧野 郁夫	※水上 博之 (H28. 7. 12~H29. 6. 19)
委 員	石区防災指導員	宮澤 洋一	※山田 智己 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	豊野区防災指導員	滝澤 修	※西山 幸夫 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)
委 員	浅野区防災指導員	坂爪 武	※荻原 正 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	蟹沢区防災指導員	嶋田 善昭	
委 員	大倉区防災指導員	佐藤 正彦	※東 和義 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	川谷区防災指導員	畑田 佳告	
委 員	消防団豊野ブロック第1分団長	藤澤 政彦	※青木 義彦 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	消防団豊野ブロック第2分団長	井上 光隆	※宮澤 洋一 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	消防団豊野ブロック第3分団長	吉原 一博	※内山 久人 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)
委 員	消防団豊野ブロック第4分団長	会田 健司	※坂爪 武 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)
委 員	消防団豊野ブロック第5分団長	中村 和史	※弓本 武 (H28. 7. 12~H30. 3. 31)
委 員	消防団豊野ブロック第6分団長	荻原 啓一	※佐藤 正彦 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)
委 員	長野市赤十字奉仕団豊野分団委員長	伝田 芳子	※西川 恵子 (H29. 4. 1~H30. 3. 31) ※内山 美恵子 (H28. 7. 12~H29. 3. 31)

おわりに

豊野地区避難誘導計画策定事業は平成 28 年度から 3 ヶ年計画で行われました。平成 28 年度には千曲川や浅川が越水した際、適切な行動がとれるように地区内の電柱 90 箇所看板設置を行い、そして平成 28 年度から策定を始めた防災ガイドブック・防災マップが平成 30 年度に完成し全戸配布をしました。ぜひ家庭・地域・学校などで有効に活用して頂きたいと思います。

そして引き続き災害に強い豊野地区になっていくようこれからも活動してまいります。

ご協力いただいた関係機関そして豊野地区避難誘導計画策定委員会の委員の皆様には大変なご尽力を賜りましたこと心から御礼申し上げます。

わが家の^{ぼうさい}防災ガイドブック

発行日	平成 30 年 (2018 年) 12 月 1 日
発行者	豊野地区住民自治協議会
所在地	〒389-1192 長野市豊野町豊野 631
電話	026-217-6638
F A X	026-257-4776
E-Mail	toyono@valley.ne.jp
編集	豊野地区避難誘導計画策定委員会
アドバイザー	長野市、長野市消防局鳥居川消防署 長野県警察長野中央警察署豊野町交番
協力	国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所 長野県
印刷	東洋印刷株式会社

このガイドブックは、長野市の「一支部一モデル事業(平成 28 年度～平成 30 年度)」の補助金を受けて製作しました。

緊急連絡の際、慌てているといつも言える情報が
 言えなくなることがあります。記入して目の届くところに置きましょう。

さいがい じきんきゅうれんらくさき
災害時緊急連絡先

消防 (救急・火災・災害)	119	警察 (事件・事故)	110
鳥居川消防署	253-5119	豊野町交番	257-2023
豊野支所	257-3131	長野市役所	226-4911
長野市 上下水道局	224-5070	中部電力 長野営業所	0120-984-510

や じょうほう
わが家の情報

(〒 -)
 住所 電話

家族情報	名前	生年月日	血液型 型 Rh + -	連絡先 (携帯・勤務先・学校)
	名前	生年月日	血液型 型 Rh + -	連絡先 (携帯・勤務先・学校)
	名前	生年月日	血液型 型 Rh + -	連絡先 (携帯・勤務先・学校)
	名前	生年月日	血液型 型 Rh + -	連絡先 (携帯・勤務先・学校)
	名前	生年月日	血液型 型 Rh + -	連絡先 (携帯・勤務先・学校)

■ 災害用伝言ダイヤル『171』の使い方 ▼ 音声ガイダンスに従って行って下さい。

伝言の録音方法 **171 ▶ 1 ▶** (xxx)xxx-xxxx ▶ 伝言を入れる

伝言の再生方法 **171 ▶ 2 ▶** (xxx)xxx-xxxx ▶ 伝言を聞く

■ 携帯電話・スマートフォンの『災害用伝言サービス』の使い方

公式メニューや専用アプリから「災害用伝言板」にアクセス

- 伝言を登録する場合 「登録」を選択し伝言を入力 (全角 100 文字)
- 伝言を確認する場合 「確認」を選択し被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

※詳しくは携帯電話各社にお問い合わせください。

■ インターネット『Web171』について

web171 🔍 検索

伝言登録や、伝言ダイヤルのメッセージや携帯電話各社からの伝言板の内容をすべて確認できます。

各伝言サービスは毎月 1 日と 15 日などに体験ができます。ぜひ「備え」の一つとして体験ください。